

疾患別検査ガイド IgG4 関連疾患2025 学術講演会報告

- 日時 令和7年4月11日(金) 19:00~21:00
- 会場 広島医師会館 2階 大講堂
- 座長 大久保 雅通 先生 (広島市医師会臨床検査センター 学術顧問)
- 演者 前田 裕行 先生
(医療法人ヤマナ会 広島生活習慣病・がん健診センター幟町 日本リウマチ学会専門医・指導医)
川野 充弘 先生
(金沢医科大学 血液免疫内科学 臨床教授 日本IgG4関連疾患学会 理事長)
- 主催 一般社団法人広島市医師会臨床検査センター
- 共催 広島市内科医会、ニッソーボーメディカル株式会社

疾患別検査ガイド IgG4 関連疾患2025 ～「もしかしてIgG4…」とうたがうことの重要性～

医療法人ヤマナ会 広島生活習慣病・がん健診センター幟町
日本リウマチ学会専門医・指導医
前田 裕行 先生



IgG4 関連疾患 (IgG4-related disease: IgG4-RD) は多様な自己抗体陽性、低補体、好酸球増多などの免疫異常や血中 IgG4 高値に加え、膵・肝・胆・唾液腺・涙腺・後腹膜腔など全身臓器に線維化と IgG4 陽性形質細胞浸潤・閉塞性静脈炎などをきたす原因不明の疾患群としてわが国から発信され、国際的コンセンサスが得られた疾患概念です (図1)。

著作権によりホームページでは掲載不可

図1 IgG4 関連疾患の概要

当検査ガイド作成の主目的（図 2）は、IgG4-RD には無症候例が多く診断及び治療介入されないままに不可逆的臓器障害を残すことが少なくないため、早期診断の重要性を強調することにあります。

IgG4-RD 症例発見の端緒としては図 3 のようなものがありますが、このような外部からの観察や症状・徴候

（図 4）から診断可能な症例は氷山の一角と考えられています。

著作権により
ホームページでは
掲載不可

図 2 検査ガイド作成目的

著作権により
ホームページでは
掲載不可

図 3 主な発見の端緒

著作権によりホームページでは掲載不可

図 4 罹患臓器ごとの症状・徴候

図 5 には IgG4-RD をうたがう端緒となりうるごく一般的な検査を示します。また血沈の亢進も有用かと思われます。

著作権によりホームページでは掲載不可

図 5 IgG4-RD をうたがう主な検査成績

IgG4-RD の包括診断基準（図 6）は、1 臨床的及び画像的診断、2 血清学的診断、3 病理学的診断の各項目満足度により確定診断群、準確診群、疑診群の 3 群に分類診断されるというシンプルな形になっていますが、補足するために注釈が付されています。

著作権によりホームページでは掲載不可

図 6 IgG4 関連疾患包括診断基準

まず【注釈 1】として臓器別診断基準の併用があります。包括診断基準は理解しやすいものですが、IgG4-RD の確定診断のためには病理組織検査が必須であるため臓器によっては生検が困難で確定診断できないことも多く、また診断に有用な臓器特異的の症状や画像所見も含まれていません。これらの弱点を補うべく、臓器特異的診断基準が All Japan 各々の専門学会で作成されています。

次に【注釈 2】では除外診断として鑑別すべき疾患が挙げられ、また炎症所見が強い場合の除外の重要性も指摘されています。

【注釈 3】で病理診断について解説されています。この中の花筵（むしろ）状線維化（図 7）と閉塞性静脈炎の病理像（図 8）を示しますが、寡聞にして「花筵」を知らなかったため調べたところ、草花などが一面に咲きそろったさま、また、花の散り敷いたさまを筵にたとえていう語だそうです。「片尻は岩にかけけり花筵 内藤丈草」（図 9）。

【注釈 4】にステロイド反応性が挙げられています。しかし、ステロイドによる安易な診断的治療は推奨されていません。リンパ腫や感染症など他疾患でも短期的にはステロイド反応を示すことがあるためと思われます。また注釈にはありませんが、当検査ガイドではステロイド治療中止やステロイド漸減による再燃やステロイド以外の免疫抑制剤などによる治療にも言及しています。

著作権によりホームページでは掲載不可

図 7 花筵(むしろ)状線維化
storiform fibrosis

著作権によりホームページでは掲載不可

図 8 閉塞性静脈炎
obliterative phlebitis

著作権によりホームページでは掲載不可

図9 花薊って？

最後に、外部からの観察や症状・徴候から診断可能なIgG4-RD症例はごく一部であり、「もしかして…」とIgG4-RDの可能性も考慮して血液検査や画像検査などを組み合わせての早期診断で非可逆的臓器障害を防ぐことの重要性を強調したいと思います。当検査ガイドが日常診療の一助となれば幸いです。

参考文献

- 1) Journal of Rare Diseases Research & Treatment 2 (2): 18, 2017.
- 2) Analytical and Quantitative Cytology and Histology 35 (4): 189, 2013.

疾患別検査ガイド Q&A のご質問の受付について

疾患別検査ガイドの専門医に検査・診断・処方について検査センターを通して相談できるアドバイスサービス「疾患別検査ガイドQ&A」のご質問を受け付けております。
つきましては、メールにてお気軽にご質問をお寄せください。

E-mail : d-guide@labo.city.hiroshima.med.or.jp

